

山崎益洲

名 益洲 字 益洲

僧侶。

明治十五年十一月京都府南桑田郡漆村生れ（一

八〇一）。明治二十四年得度。兵庫、常光般若林の學ぶ。大正十年大龍

寺派執事のち管長と、昭和四年臨濟宗佛通寺派管長の職に就いた。

論書、高木玄岳著『蒼土遺稿』（大正十一年七月、二十九年京都・河村

泰次郎刊）等。